

果樹カメムシ類の第 1 世代の発生が早まり、成虫が急増 ～果樹での防除対策を徹底してください～

1. 病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）
2. 発生作物：りんご、なし、もも
3. 発生地域：全県
4. 発 生 量：多い
5. 注意報発表の根拠（現在までの発生状況と今後の発生予想）
 - （1）りんご防除適期決定ほ（4 地点）及びなし防除適期決定ほ（3 地点）のチャバネアオカメムシフェロモントラップにおける 7 月 1～4 半旬の果樹カメムシ類の誘殺数の合計は2,626頭（平年73.8頭）で平年を大幅に上回り（表－1）、そのうちチャバネアオカメムシの誘殺数は7月1半旬に急増した（図－1）。
 - （2）6月中旬の巡回調査や予察ほにおいてチャバネアオカメムシのふ化幼虫が確認されたことから、6月1日を産卵日と仮定した有効積算温度計算シミュレーション（J P P－N E T、気象観測地点：横手）によると、チャバネアオカメムシの第1世代成虫の発生時期は7月5日と推定された。
 - （3）予察灯調査（6 地点）において7月1～4 半旬の果樹カメムシ類の誘殺数の合計は1,289頭（平年48.3頭）で平年を大幅に上回り（表－2）、そのうちクサギカメムシの誘殺数は7月4半旬に急増した（図－2）。
 - （4）6月中旬の巡回調査や予察ほにおいてクサギカメムシのふ化幼虫が確認されたことから、6月1日を産卵日と仮定した有効積算温度計算シミュレーション（J P P－N E T、気象観測地点：横手）によると、クサギカメムシの第1世代成虫の発生時期は7月19日と推定された。
 - （5）7月中旬のりんご巡回調査（20地点）における被害果率は0.6％（平年0.2％）、同地点率は40.0％（平年18.5％）でいずれも高かった。
 - （6）7月24日に仙台管区气象台から発表された東北地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は高いと予報されている。
 - （7）以上のことから、今後、りんご、なし、ももの園地において果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ）の越冬世代に加えて第1世代成虫の飛来数が多くなり、果実被害が更に多くなると予想されるため、以下の防除対策を徹底する。
6. 防除対策
 - （1）園地への飛来数は地域による差が大きいため、飛来状況をよく観察する。特に山間部や山林に隣接する園地では注意する。
 - （2）成虫が次々に飛来し、果実被害が懸念される場合には、各樹種ごとに表－3～5に示す薬剤で直ちに防除を実施する。
 - （3）園地への飛来が長期にわたる場合は、薬剤を10日間隔で2～3回連続散布する。
 - （4）ピレスロイド系剤（R A Cコード：3A）は、多発時の防除に適するが、天敵類に影響を及ぼし、ハダニ類などの多発を引き起こすおそれがあるので、連用しない。

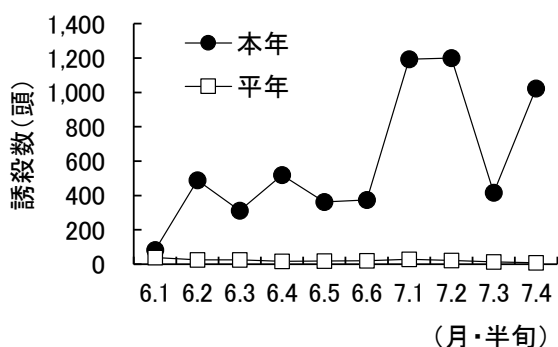
7. 資料

表－1 りんご防除適期決定ほ及びなし防除適期決定ほのチャバネアカカメムシフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数(頭)(7月1～4半旬)

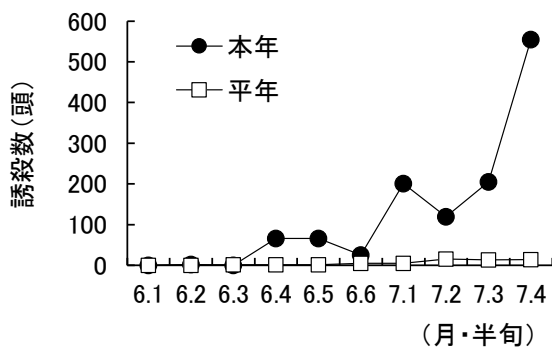
	りんご				なし			合計
	大館市	由利本荘市	美郷町	横手市	大館市	三種町	男鹿市	
本年	545	362	300	163	1145	55	56	2,626
平年	19.3	6.7	7.3	40.0	55.3	1.9	17.0	73.8
概評	多	多	多	多	多	多	多	多

表－2 予察灯調査における果樹カメムシ類の誘殺数(頭)(7月1～4半旬)

	北秋田市	五城目町	秋田市	由利本荘市	大仙市	湯沢市	合計
本年	468	127	313	105	141	135	1,289
平年	10.0	2.5	27.2	3.2	1.7	3.7	48.3
概評	多	多	多	多	多	多	多



図－1 防除適期決定ほのチャバネアカカメムシフェロモントラップにおけるチャバネアカカメムシの誘殺数の推移(りんご4地点、なし3地点合計)



図－2 予察灯調査におけるクサギカメムシの誘殺数の推移(6地点合計)

表－3 りんごのカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
3A	イカズチWDG	1,500倍	収穫前日まで	2	2
	バイスロイドEW	2,000倍	収穫7日前まで	4	4
	ロディー水和剤	1,000倍	収穫前日まで	2	ア
4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで	2	2
	アルパリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	イ
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	イ
	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3

ア：フェンプロパトリン(7回以内(噴射は5回以内、散布は2回以内)) イ：ジノテフラン(3回以内)

表－4 なしのカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
3A	アグロスリン水和剤	1,000倍	収穫前日まで	3	3
	サイハロン水和剤	2,000倍	収穫7日前まで	3	3
	テルスター水和剤	1,000倍	収穫前日まで	2	2
	マブリック水和剤20	2,000倍	収穫30日前まで	2	2
3A・1B	パーマチオン水和剤	1,000倍	収穫30日前まで	5	アイ
4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3
	アドマイヤー顆粒水和剤	10,000倍	収穫3日前まで	2	2
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ウ
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ウ
	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3
	バリアード顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3

ア：MEP(6回以内) イ：フェンバレーレート(5回以内) ウ：ジノテフラン(3回以内)

表－5 もものカメムシ類防除薬剤一覧

RACコード	農薬名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	各成分の総使用回数
3A	アグロスリン水和剤	2,000倍	収穫前日まで	5	5
	テルスター水和剤	1,000倍	収穫14日前まで	2	2
4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	3
	アルバリン顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ア
	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	収穫前日まで	3	ア
	ダントツ水溶剤	2,000倍	収穫7日前まで	3	3

ア：ジノテフラン(3回以内)

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所	TEL	018-881-3660
秋田県果樹試験場	TEL	0182-25-4224
かづの果樹センター	TEL	0186-25-3231
天王分場チーム	TEL	018-878-2251
掲載HP https://www.pref.akita.lg.jp/bojo/		